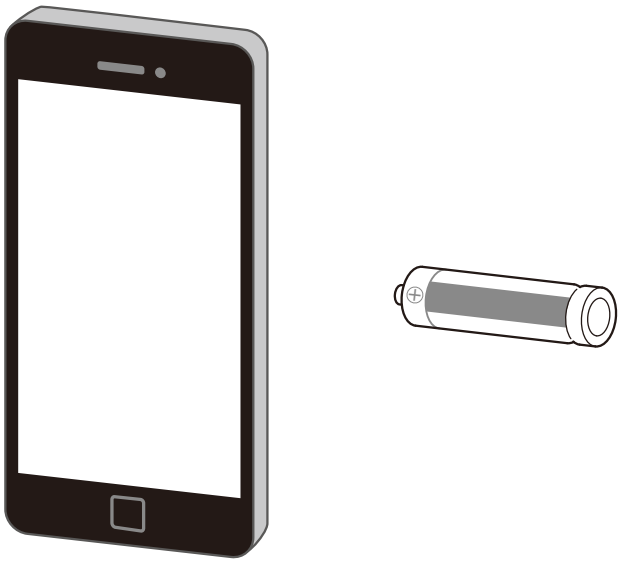
LIXIL

お施主さま用

FamiLock 電池式

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm

MAM985A

目次

	ページ
■重要なお知らせ	1
■警告用語の種類と意味	2·3
■特に注意していただきたいこと	4
■各部の名称と主な機能説明	
1. システム全体の名称	5
2. オプション品の機能一覧（できること）	5
■ご使用の前に実施していただきたいこと	
1. ドアに電池を入れる、交換する	6
2. 登録できる玄関キーについて	
3. カードキー、タグキーを登録する	7
4. リモコンの電源 ON/OFF 機能について	
5. リモコンを登録する	8
6. スマートフォンを登録する（アプリのインストール）	9
■ FamiLock の通信仕様	
1. 通信エリアと認証エリア	
2. 電波の特性について	10
■アプリの使い方	
1. 機能紹介	11·12
2. 電気錠の設定方法	12
3.「セキュリティエリアコントロール」機能	13
■使い方	
1. タッチボタンで解錠する	
2. タッチボタンで施錠する	14
3. 遠隔操作で施解錠する	15
4. 電池交換の時期を知りたい	
5. 自動施錠と連動施錠の切替え	16
6. シリンダーやサムターンから施解錠したい	
7. 防犯機能について知りたい	17
■ご使用上の注意事項について	18
■登録データの削除	
1. 上書きによる削除方法	19
2. アプリから削除する	
3. すべての登録データを削除する	

	ページ
■リモコンについて	
1. リモコンの電池を交換したい	
2. リモコンの電池交換時期を知りたい	
3. 標準キーの収納方法と取り出し方	20
4. リモコンのスリム化（キー収納ブロックの取外し）	
5. ストラップの通し方	
6. リモコンのオートスリープ機能について	21
■お手入れ方法	22
■こまったときには	
1. 故障かな？と思ったら	23·24
2. ドアのブザー音と LED 表示について	25
3. リモコンのランプ表示について	
■商品仕様	26
■アフターメンテナンスについて	27
■商品保証について	28

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のため、必ずお守りください。
「FamiLock」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。もしこの取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、株式会社 LIXIL およびその販売会社に責任はないものといたします。

1. この取扱い説明書に記載してある注意事項が、すべての危険を含んでいるわけではありません。したがって、「FamiLock」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。
3. この取扱い説明書についての質問又はより詳しい情報が必要な場合は、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL 修理受付センター	0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では「FamiLock」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

この「取扱い説明書」では、危険度（又は事故の大きさ）にしたがって、次の 3 段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意　味
⚠警 告	取扱いを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
⚠注 意	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷故障等につながる場合があります。

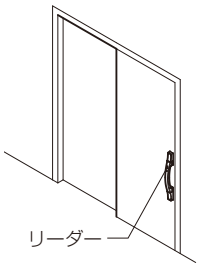
特に注意していただきたいこと

（安全のため、必ずお守りください）

⚠ 警　告

●リモコンや小型の電池は乳幼児の手の届く所に置かないでください。電池を飲み込んだ場合は直ちに取出す必要がありますので、すぐに医師に連絡し、指示を受けてください。電池を飲み込むと、化学やけど、粘膜組織の貫通など、最悪の場合は死に至るおそれがあります。

●心臓ペースメーカなどの植込み型医療機器を装着されている方は、ドアのリーダーからの電波が植込み型医療機器の作動に影響を与えるおそれがありますので、リーダーの（）マークから 22cm 以内に植込み型医療機器が近づかないようにしてください。



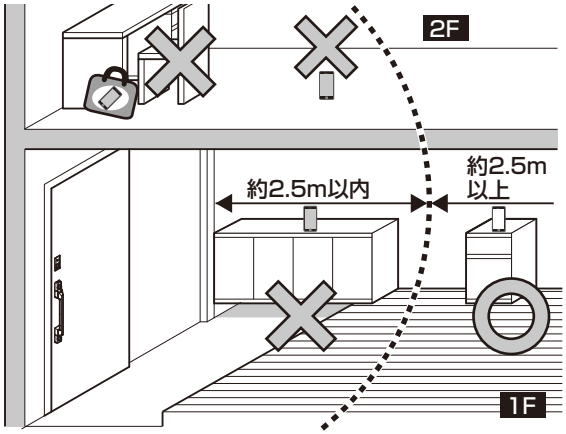
●電池の使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや火災のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・電池の液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。
・電池を火の中に入れたり、加熱、分解しないでください。
・電池の（＋）と（－）を逆にして使用しないでください。
・新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。

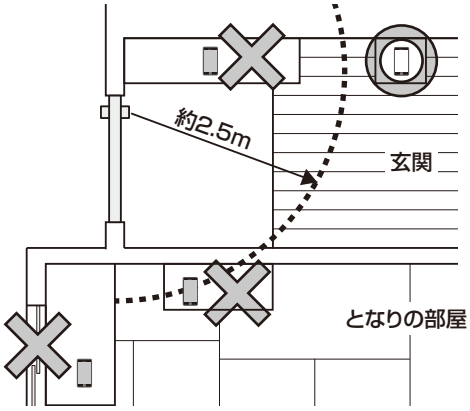
⚠ 注　意

●登録済みのリモコンまたスマートフォンを玄関ドア付近に放置しないでください。タッチボタンを押し、不正に解錠（施錠）が行われ第三者に侵入されることがあります。リモコン・スマートフォンの保管は、玄関ドアから 2.5 m以上離れたところにしてください。（リモコンの電源が ON の場合、スマートフォンの Bluetooth® 機能が ON の場合）

※現場環境によって、安全な保管距離（2.5m）は前後する場合があります。
※ドアより外側に当たる場所での保管は距離に関係なく避けるようにお願いします。



※特に2F で保管する場合は注意が必要です。



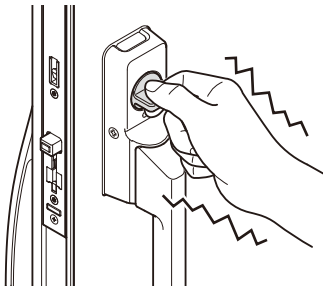
※となりの部屋でも影響を受けます。

⚠注　意

●電池の使い方を誤ると、電池が発熱、液漏れ、破裂し、ケガや周囲を汚損するおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
・電池を水などで濡らさないでください。
・電池は、直射日光・高温・高湿の場所を避けて使用、保管してください。

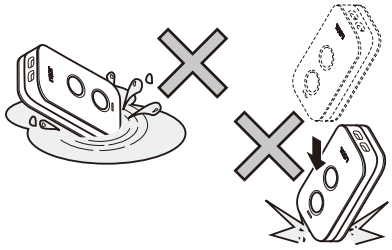
■お願い

●作動中にサムターンにふれたり、ドアを開けたりしないでください。錠が枠に当たりキズが付いたり一時的にサムターンが少し重くなることがあります。



●電池切れや故障など、万が一の事態に備えて、カギ（⊶）も携帯するようにしてください。
●分解や修理、改造を行わないでください。機器が壊れることがあります。また、本製品は総務省の技術基準に適合しており、改造すると法律により罰せられることがあります。
●故障の原因となりますので機器全般において以下の使用方法をお守りください。
（1）機器に水などをかけないでください。
（2）ストーブなど高温の物を近づけないでください。
（3）加湿器など湯気の出る物を下に置かないでください。
（4）強い力を加えないでください。

●リモコンについては、次の使用方法も合わせてお守りください。破損や故障の原因になります。
（1）落下などによる衝撃や強い力を加えないでください。
（2）水の中に落とすなど水没させないでください。
（3）窓際や車のダッシュボードの上など高温となる場所に置かないでください。



●セキュリティを向上させるため、アプリと玄関ドアのファームウェアは最新の状態を保ってください。
●住宅を購入・転売・借入などされた場合は、ご使用開始前に「すべての登録データを削除」してください。この操作により、工事中や前入居者の登録情報が削除されますので不正な利用が防止されます。
●ご使用前に点検して異常があれば操作を中止し、工務店様・販売店様または当社お客さま相談センターにお問い合わせください。
●製品の設置や修理は必ず専門業者に依頼してください。人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

各部の名称と主な機能説明

※この取扱い説明書に掲載されている絵は、特別な記載が無い限り、右勝手を表します。

1 システム全体の名称

室外側
フタ
電池フタ
制御ユニット
ラッチ付箱錠
上部シリンダー
上部シリンダーカバー
下部シリンダーカバー
下部シリンダー
鎌箱錠
室内側
登録ボタン
自動施錠切替えスイッチ
連動施錠切替えスイッチ
サムターン
室内側ハンドル
サムターン
タッチボタン
LED
電池切れ表示

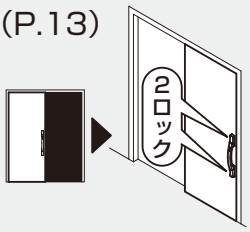
■シリンダーカバーの外し方

シリンダーカバーのハンドルに近い部分をつまんで引っ張ると外れます。（下部も同様です。）

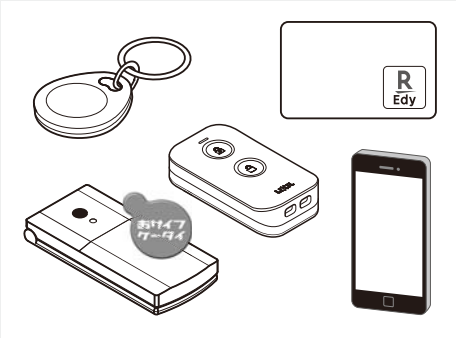
※シリンダー（カバーの取外し）は多用しないでください。カバーが外れやすくなる場合があります。

タッチボタンを押して、電動で錠の操作（施解錠）ができます。
→（P.13･14）

電動で解錠したあと、ドアを開閉すると自動施錠するようにできます。
→（P.13）



付属のカードキー、タグキーのほか市販の Edy カード、おサイフケ ータイも同様に使用することができます。さらにスマートフォンやリモコンを登録することでワンタッチ操作など多くの便利機能が使えます。→（P.6 ～ 8）



上のサムターンを施錠すると自動的に２ロックするようにできます。
→（P.16）

電動で解錠したあと、しめ忘れ防止機能によりカギのかけ忘れを防止します。
→（P.13）

不正解錠防止機能やセキュリティサムターンにより、ピッキングやガラス破り、サムターン回し対策ができます。→（P.17）

※玄関キーを一度も登録したことがない場合、上記機能はすべて作動しません。

2 オプション品の機能一覧（できること）

オプション品	できること	関連ページ	購入先
追加用カードキー ＊1 追加用タグキー ＊1 楽天 Edy カード ＊2 おサイフケータイ ＊2	タッチしてかざすだけで施解錠	P.13	LIXILパーツショップ/カード
追加用標準キー収納リモコン ＊1 （以後、「リモコン」と記載します）	タッチ操作でワンタッチ施解錠 少し離れたところから遠隔操作で施解錠	P.13・14	LIXILパーツショップ/リモコン
スマートフォン ＊2	施解錠の履歴を確認 家族の帰宅・外出をメールで通知	P.10	アプリのインストールと登録が必要です。 →（P.8）
	登録情報確認と削除 ファームウェアのアップデート	P.11	
	操作・確認音を消音 認証エリアの調整	P.12	
	タッチ操作でワンタッチ施解錠 少し離れたところから遠隔操作で施解錠	P.13・14	

＊1）追加タグキー、追加カードキー、リモコンは追加購入いただけます。ご購入については、お近くの販売店もしくは LIXIL オフィシャルサイトよりご注文いただけます。
● LIXIL パーツショップ　https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/

＊2）おサイフケータイ、楽天 Edy カード、スマートフォンはお手持ち品を登録できます。（各機器に対して動作確認を実施しておりますが、完全な動作を保証するものではありません）

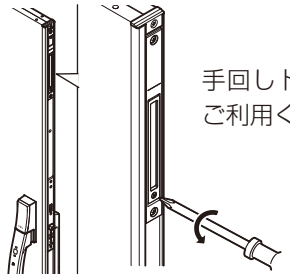
「楽天 Edy（ラクテンエディ）」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。「おサイフケータイ」および「おサイフケータイ」ロゴは、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

ご使用の前に実施していただきたいこと

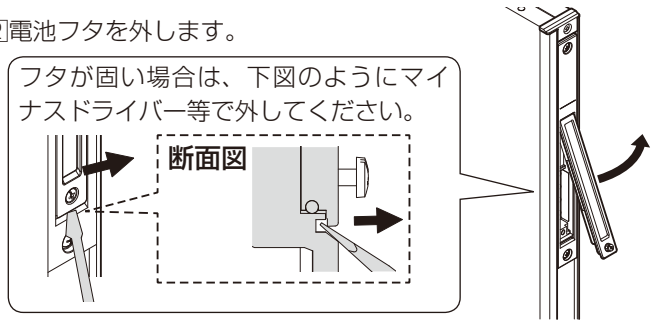
1 ドアに電池を入れる、交換する

●本製品はアルカリ乾電池単３形８本で作動しています。始めに次の手順で電池を入れてください。

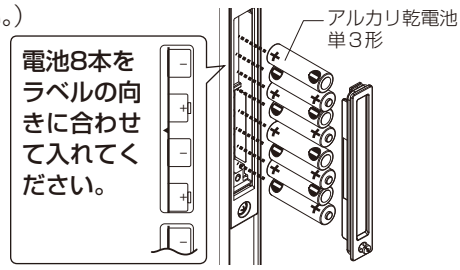
1 電池フタのねじを緩めます。



2 電池フタを外します。



3 新品の電池８本を入れます。
（交換時は、古い電池を全て取出してから行ってください。）



4 電池フタを閉め、ねじを締めます。

電池フタを閉めたときに『ピーーー音』が鳴る場合は、電池の入れ間違いか、フタが半開きになっています。電池を入れ直してください。

2 登録できる玄関キーについて

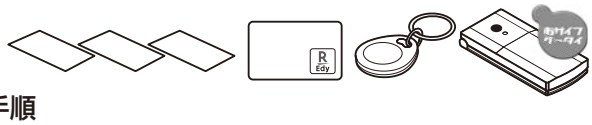
	登録できる玄関キー		
	かざすタイプ	ボタン操作タイプ	
玄関キーの種類	追加カードキーブラック [Z-204-DVBA]*1 追加カードキーライトグレー [Z-205-DVBA]*1 追加タグキー [Z-251-DVBA]*1 おサイフケータイ *2 楽天 Edy カード *2 以下の「カードキーを登録する」をご参照ください。	リモコン [Z-311-DVBA]*1 P.7「リモコンを登録する」をご参照ください。	スマートフォン *2 P.8「スマートフォンを登録する」をご参照ください。
最大登録個数	合わせて 10 個まで登録できます。	リモコンとスマートフォンは合わせて 10 個まで登録できます。	

*1) カードキー、タグキー、リモコンには、オプション部品もあります。追加購入は、P.5 をご参照ください。
*2) おサイフケータイ、楽天 Edy カード、スマートフォンはお手持ち品を登録できます。
*3) おサイフケータイとは、おサイフケータイ機能が搭載された携帯電話のことです。

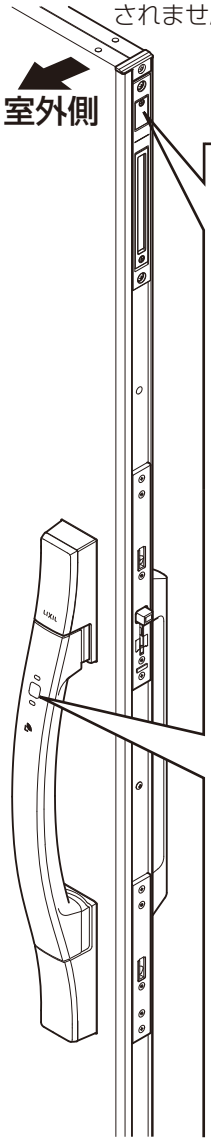
3 カードキー、タグキーを登録する※おサイフケータイ、楽天 Edy カードの場合も同じです。

■登録の前に

登録したいカードキー、タグキー(以下、「タグキー」は省略)をすべて集めます。
(すでに登録済みの分も含みます。)
※新たに登録するとすでに登録済みのカードキーのデータがすべて消去されます。
※カードキーの登録だけでは、リモコンやスマートフォンの登録データは消去されません。



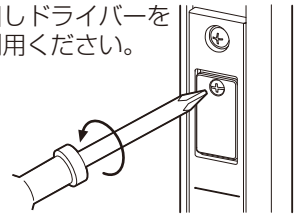
【おサイフケータイの場合】
楽天 Edy アプリをインストールしてください。アプリがインストールされていないと登録できません。
楽天 Edy についての詳細は楽天 Edy オフィシャルサイトをご確認ください。
https://edy.rakuten.co.jp/



■登録手順

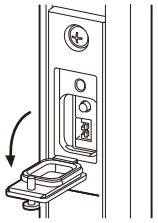
1 フタのねじをゆるめます。

手回しドライバーをご利用ください。



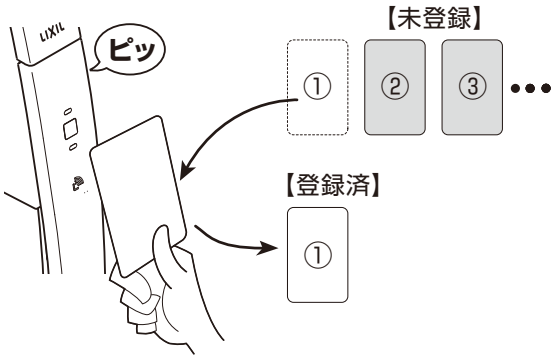
約10回まわします。

フタを外します。



登録ボタンを1秒押し離すと『ピー』音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

2 カードキー①、②、③…を順番に マークにかざし登録します。登録の都度、登録済み枚数分だけピッ音が鳴ります。
(例：1枚目「ピッ」、2枚目「ピッ、ピッ」)
※ 30 秒以内に続けて登録してください。

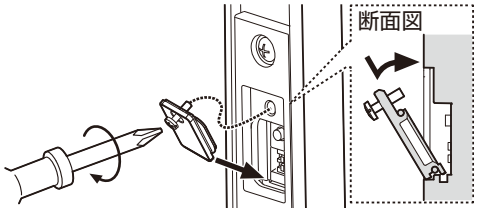


※最大登録枚数は10枚です。
※続けてリモコンの登録もできます。詳しくはP.7の「リモコンを登録する」をご参照ください。
※1つのカードキーを複数のドア(無制限)に登録できます。

3 約30秒待つと登録モードが終了し、『ピー』音の後、登録枚数分『ピッ』音が鳴ります。*1

*1) 登録済みのスマートフォンやリモコンの個数分も合わせて鳴ります。

4 フタを元に戻します。

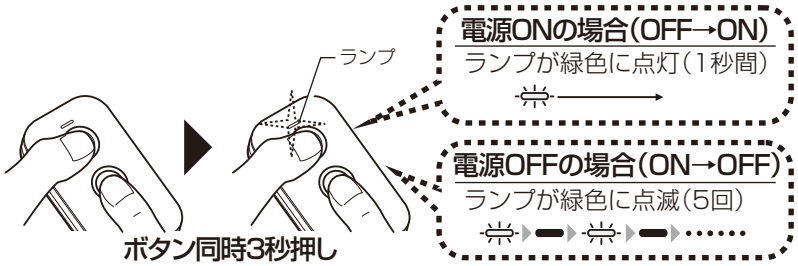


下部のツメをひっかけてからねじをしめてください。

4 リモコンの電源 ON ／ OFF 機能について

2つのボタン同時長押しでリモコンの電源を ON/OFF できます。

※電源をOFFにするとリモコンは使用できなくなります。しばらく使用しないときや玄関付近でリモコンを保管しなければならない場合は電源をOFFにしてください。
※電池を入れ替えた場合も電源がOFF→ONになります。

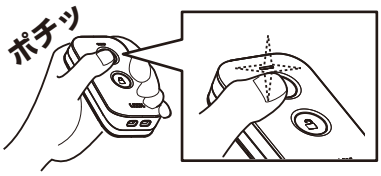


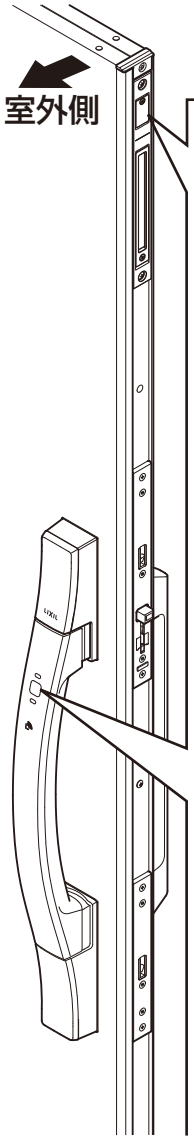
5 リモコンを登録する

■登録の前に

登録したいリモコンをすべて集めます。（すでに登録済みの分も含みます。）
※新たに登録するとすでに登録済みのリモコンのデータがすべて消去されます。
※リモコンの登録だけでは、カードキーやスマートフォンの登録データは消去されません。

リモコンのボタンを押してランプが点灯する（電源がONになっている）事を確認します。
※OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。

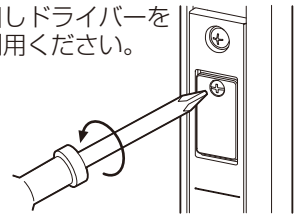




■登録手順

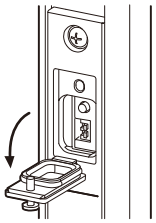
1 フタのねじをゆるめます。

手回しドライバーをご利用ください。



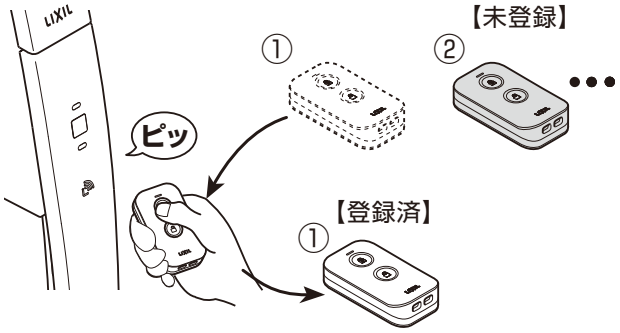
約10回まわします。

フタを外します。



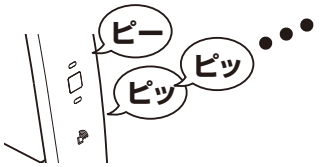
登録ボタンを 1 秒押し離すと『ピー』音が鳴り、LED が点滅し、登録モードに入ります。

2 リモコン①、②…のボタンを押して登録します。登録の都度、登録個数分だけピッ音が鳴ります。
（例：1個目「ピッ」、2個目「ピッ、ピッ」）
※30秒以内に続けて登録してください。



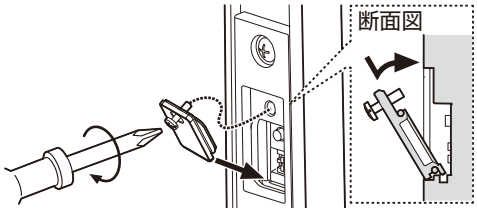
※最大登録個数はスマートフォンと合わせて10個です。
※続けてカードキーの登録もできます。詳しくはP.6の「カードキー、タグキーを登録する」をご参照ください。
※１つのリモコンに最大10 台のドアを登録できます。11台目のドアを登録すると、リモコンからは1台目のドアの登録情報が自動的に削除されます。

3 約30秒待つと登録モードが終了し、『ピー』音の後、登録個数分『ピッ』音が鳴ります。*1



*1）登録済みのスマートフォンやカードキーの個数分も合わせて鳴ります。

4 フタを元に戻します。



下部のツメをひっかけてからねじをしめてください。

6 スマートフォンを登録する（アプリのインストール）

■登録の前に

・スマートフォンへ専用アプリ「My Entrance」のインストールが必要です。

アプリのダウンロードは、下記ダウンロードサイトから行うか、
「App store」もしくは「Google Play（Playストア）」で「My Entrance」と検索してください。
（類似のアプリにはご注意ください）

◀ダウンロードは、2次元コードを読み取って「玄関ドア 電気錠サポート」サイトにアクセス、FamiLock 内の**アプリのダウンロードはこちら**より行えます。

https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de02.htm

対応スマートフォン機種一覧、FamiLock やアプリに関するお知らせもこちらから確認いただけます。

※専用アプリはアップデートにより新機能が追加されることがあります。
このため、本説明書に記載が無い新機能については「玄関ドア 電気錠サポート」サイトをご確認ください。

■登録方法

1）事前準備

①スマートフォンのBluetooth®を有効にしてください。（無効状態では登録できません。）

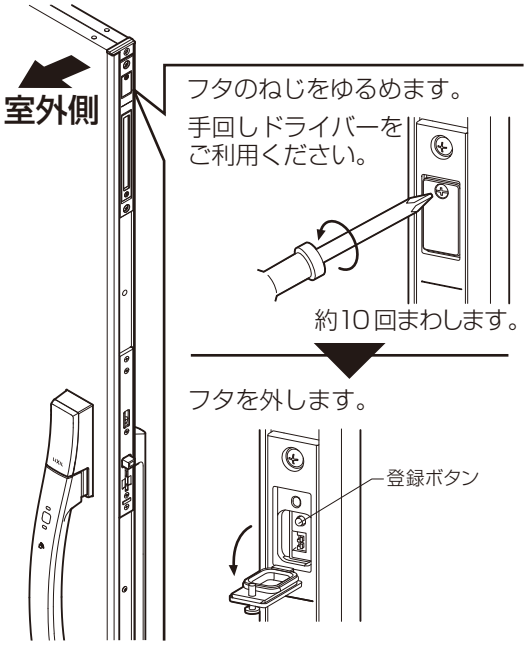
②途中でドアの登録ボタンを押す必要がありますのでフタを開けておいてください。

③初めて登録する1台目のスマートフォンは、「ファミリーコード」を設定する必要があります。事前に「ファミリーコード」（4桁以上の数字）を決め、家族で共有してください。

ファミリーコードとは

第三者が不正に登録できないように、1台目を登録する際に設定するパスワードです。2 台目以降のスマートフォンを登録する場合は1台目で設定したファミリーコードの入力が必要です。このため、ファミリーコードは家族以外など第三者には教えないようにしてください。

＜ファミリーコードの確認・変更＞
登録済みスマートフォンではファミリーコードを確認、変更することができます。通信エリア内でアプリの「≡メニュー→電気錠の設定→ファミリーコード」



2）登録手順

①アプリ「My Entrance」を起動し、アプリ内の誘導に従って登録します。

※登録方法がわからない場合は、「玄関ドア 電気錠サポート」ページ内の説明動画をご覧ください。動画は、上記の2次元コードを読み取り、「FamiLock→操作・設定ガイド」内にあります。

②スマートフォンの登録完了後、30秒後に登録が終了します。

③2台目以降のスマートフォンの登録は続けて30秒以内に登録を開始してください。

※スマートフォンを新たに追加登録してもそれまでの登録データが消えることはありません。

My Entrance

■お知らせ

●スマートフォン登録中に 5 分以上経つと登録終了になります。

●1 台のドアにスマートフォン（リモコンを含む合計）は最大 10 個まで登録できます。ただし、1 台のドアへの同時接続数 (同時に使用できる数) は 最大 6 個です。

●スマートフォンのアプリには、最大 10 台までドアを登録する事ができます。

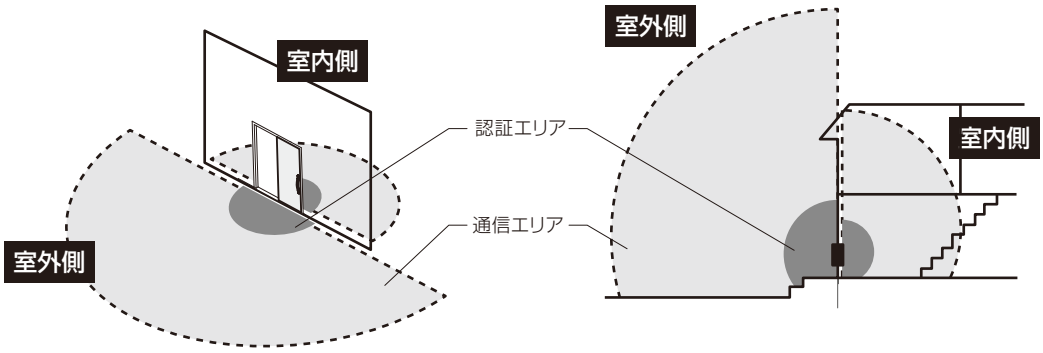
●スマートフォンの機種変更やアプリのアンインストールを行った場合、ドアに登録されている古い登録データは残ったままになるため、同じ名前で再登録するか、古い登録データの削除→ (P.18) を行ってください。

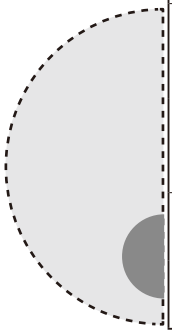
※ Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc. が所有する登録商標であり、㈱ LIXIL はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

FamiLock の通信仕様

1 通信エリアと認証エリア

本製品はドアと登録済みのリモコン・スマートフォン (登録キー) の間で、Bluetooth® を使用した無線通信によって、セキュリティを強化した相互認証を行っております。
また本紙では、ドアと通信できる範囲を**「通信エリア」**この「通信エリア」内で、ドアに近く電波がより強い範囲を**「認証エリア」**と呼称しております。各エリア内にて、できることは下記表をご確認ください。





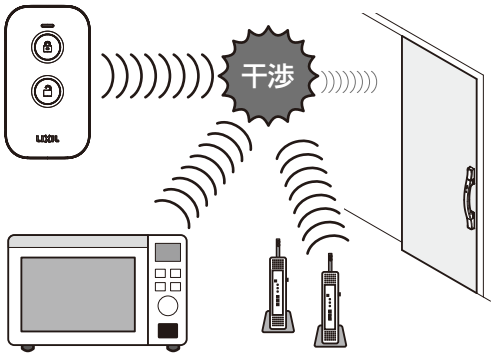
	主にできること	距離		
		内外	スマートフォン	リモコン
通信エリア内	・遠隔操作 ・電気錠の設定 ・登録確認・削除 ・履歴の確認・更新 ・施解錠状態の確認	室外	約10m （最大約 40m）	約 5m （最大約 15m）
		室内	約 5m （最大約 15m）	約 2m （最大約 5m）
認証エリア内	上記に加え ・タッチボタンによる施解錠	室外	約0.8m～1.5m*1 （最大約 5m）	約0.8m～1.5m （最大約 5m）
		室内	最大約 2.5m（保管禁止距離）	

※周囲の環境（障害物の有無）、スマートフォンの機種により各エリアは大きく変化するため、上記数値は保証するものではありません。特に保管禁止距離にはご注意ください。
通信エリア内で同時に使用できるスマートフォン / リモコンは 6 個までです。
通信エリア内に 7 個以上登録済みのスマートフォンがある場合通信できなくなる場合があります。
＊1）スマートフォンのみ認証エリアを変更することができます。（P.12）

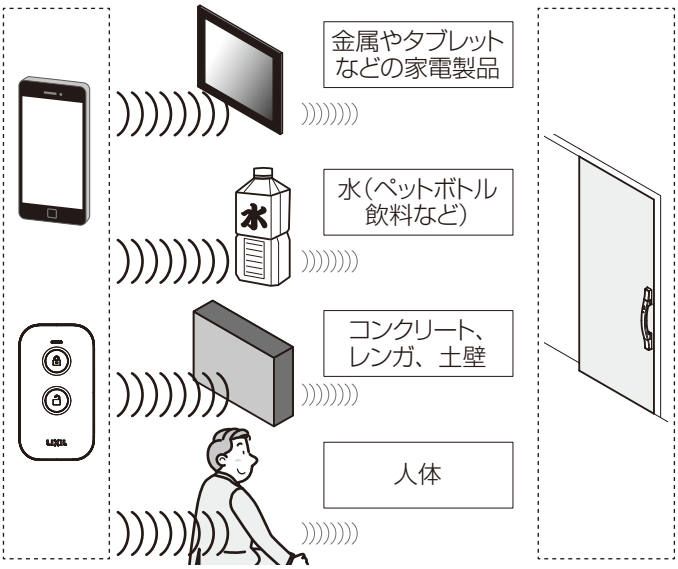
2 電波の特性について

電波の特性上、次の場合に通信距離が短くなったり、通信できなくなることがあります。

①電波（2.4GHz 帯）を使用する機器が複数ある
②電子レンジやディスプレイなどの電波ノイズを出す家電製品が近くにある
③電源ケーブルやシールドが不十分な同軸ケーブルが近くにある
④リモコン・スマートフォンとドアの間に電波を遮る障害物がある



電波を遮る障害物の例



アプリの使い方

1 機能紹介

■トップ画面の説明

メニュー

選択中の電気錠
（複数の電気錠を登録している場合
スライドさせる事で切り替える事ができます。）

現在の施解錠状態を表示
（通信エリア内のみで反映されます。）

設定情報や玄関キーの登録数が
ご確認いただけます。

遠隔操作ボタン
（通信エリア内から施解錠操作が行えます。）

登録情報の更新、ファームウェアのアップデートなどの
お知らせがご確認いただけます。
（一度確認するか、ファームウェアは完了するとお知らせは自動的に削除されます）

操作履歴がご確認いただけます。

※画面は iOS 版 :V1.0.0 のものです。

■履歴の確認方法

操作・設定の変更の履歴などが
ご確認いただけます。

方法

「トップ画面→履歴」から
ご確認いただけます。

「全ての操作」
家族を含む全ての施解錠
操作の履歴が表示されます。
各ドアにつき最大約1350件

「スマホ操作」
ご自身のスマートフォンを使った
操作の履歴が表示されます。
各ドアにつき最大約50件

「設定変更等」
機器の登録・削除や
設定変更の履歴などが
表示されます。
各ドアにつき最大約150件

■お知らせ

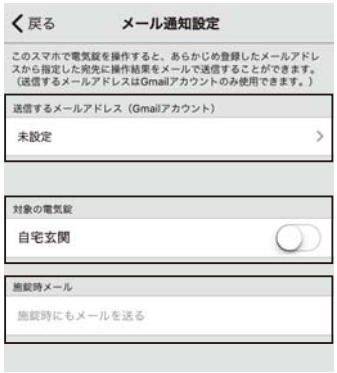
履歴は以下のタイミングで更新されます。外出時など、ドアから離れた場所では履歴は更新されませんのでご注意ください。
・通信エリア内で履歴の確認を行った時（各項目選択が必要）
・ご自身のスマートフォンで施解錠を行った時（「スマホ操作」のみ更新）
ドア本体側の電池切れなど電源の供給が無くなった場合、操作履歴や操作時刻が表示されない期間が発生します。
電源復旧後、スマートフォンと正常に通信するとそれ以降の操作時刻が表示されるようになります。

■メール通知設定の方法

家族が帰宅・外出時にスマートフォンで施解錠を行うと、
メールでお知らせします。

方法

「 ≡メニュー→メール通知設定」から設定いただけます。



「送信するメールアドレス」
Gmailのアカウントを設定し
ます。（メール送信元となります）
※Gmail以外は設定できません。

「対象の電気錠」
解錠時のメールの宛先を設定
します。
最大5件まで登録できます。

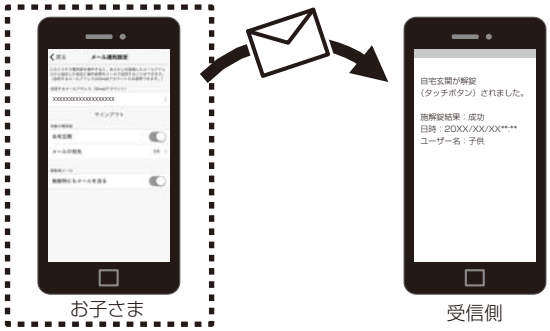
「施錠時メール」
OFF の場合：解錠時のみメール通知します。
ON の場合：施錠時および解錠時にメール通知します。
宛先が1件も登録されていないと設定を変更できません。

■お知らせ

・登録されたスマートフォン以外での施解錠操作はメール通知されません。
・別途 Gmail のアカウントの取得が必要となります 。
・施錠時のみのメール通知は行えません。（解錠時または施解錠時に通知）
・施解錠操作する側のスマートフォンにて設定が必要になります。

例：お子さまの施解錠操作をメールで通知する場合
お子さまのスマートフォンにて設定が必要です。

〈設定を行う側〉



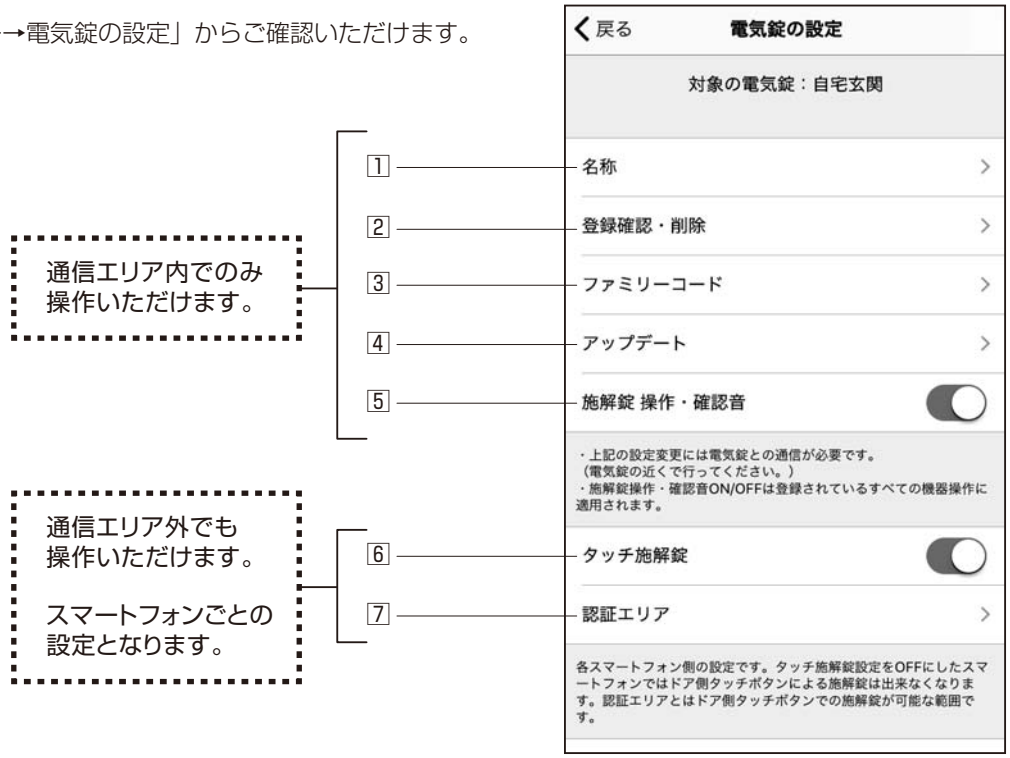
※受信側ではメール通知設定を行う必要はございません。

2 電気錠の設定方法

「電気錠の設定」から設定の確認・変更、登録の削除などが行えます。

方法

「≡メニュー→電気錠の設定」からご確認いただけます。



1名称

現在登録している電気錠（自宅玄関など）と、あなたの名前（お父さんなど）を確認・変更ができます。
ここでの名称がスマートフォン内や操作履歴などに表示されます。

■お知らせ

・設定内の「この電気錠を使用するあなたの名前」は、他のスマートフォンと同一名称は設定できません。

2登録確認・削除

ご自身のスマートフォン以外のカードキーやリモコンを含む登録数の確認・削除ができます。
削除の方法は P.19「アプリから削除する」を参照ください。

3ファミリーコード

ファミリーコードの確認・変更ができます。電気錠にスマートフォンを登録する際に必要となります。
登録している全てのスマホを紛失するなどしファミリーコードが確認できない場合、P.19「すべての登録データを削除する」で登録データと共に初期化できます。

4アップデート

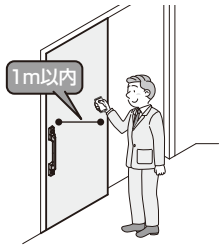
電気錠本体側のファームウェア（ドア側の制御プログラム）のアップデートを行います。
トップ画面の「お知らせ」にアップデートの更新がでましたらここから本体のアップデートの更新を行ってください。
またアプリ側もストアより常に最新版へ更新してください。

方法

スマートフォンを持ってドアへ近づきアップデートを実行してください。

■お願い

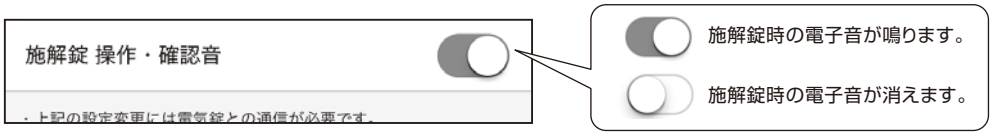
アップデートが完了するまでの間、電気錠とスマートフォンの距離を1m以内に保ってください。

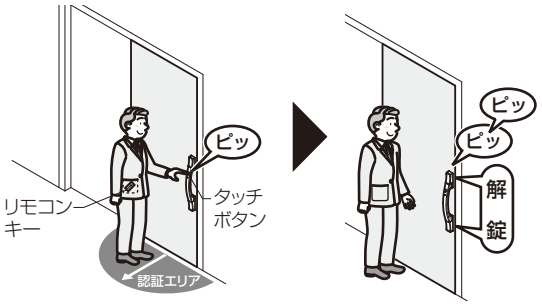


〈所用時間の目安〉
5分～15分

アップデート実行中は、電気錠の操作をすることができません。（手動での施解錠は可能です。）

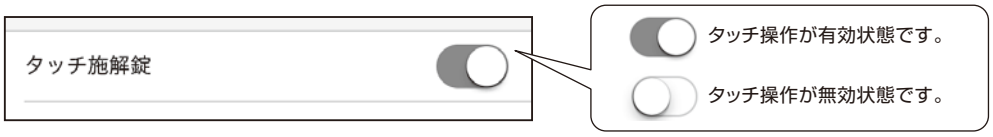
5施解錠操作・確認音
施解錠操作時の操作音・確認音などの電子音は ON /OFF する事ができます。





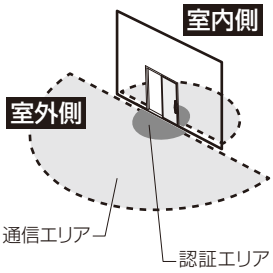
■お知らせ
・施解錠以外の操作・確認音は変更できません。
・モータ音等の作動音は消すことができません。
・ご家族のスマートフォン、リモコン、カードキーなど全ての電気錠の操作に反映されます。

6タッチ施解錠
タッチボタン操作による施解錠の操作を有効 / 無効を切り替える事ができます。
しばらく使用しないときや玄関付近で保管しなければならない場合などに無効にしてください。



7認証エリア
スマートフォンのみ認証エリアを変更する事ができます。
認証エリアを調整したい場合にご使用ください。

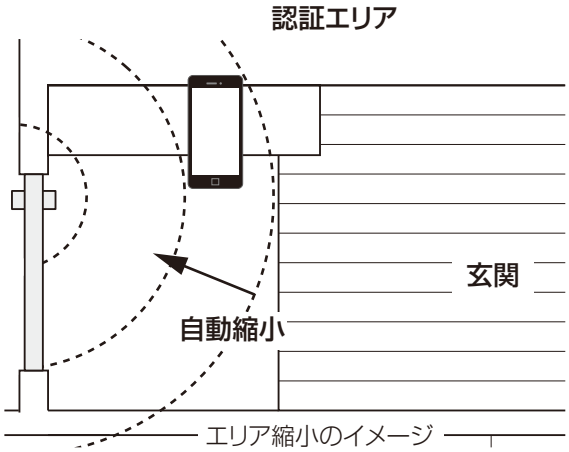
■お知らせ
・認証エリアを広くした際は解錠できる距離が長くなり、スマートフォン保管禁止距離も広くなります。不正解錠されないよう十分注意してご使用ください。
・通信エリアの変更はできません。
・設定変更したスマートフォンのみ認証エリアが変わります。



3 「セキュリティエリアコントロール」機能

防犯のため、認証エリア内にスマートフォンがあると3分ごとに認証エリアを段階的に2回自動縮小します。2回縮小後もスマートフォンが認証エリア内にある場合、アプリに通知が来ます。

■解除方法
・対象のスマートフォンで施解錠を行う
・ドア（電気錠）との通信が切れた場合
＜例＞
・通信エリアから外へ移動した場合
・スマートフォンを再起動（アプリの再起動含む）した場合
・スマートフォンの Bluetooth® 機能を OFF にした場合　など



■お知らせ
・スマートフォンごとに作動します。その他のスマートフォンやリモコンの認証エリアは変わりません。
・この機能は OFF にする事はできません。

使い方

1 タッチボタンで解錠する

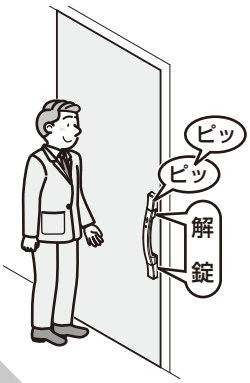
【カードキー、タグキーの場合】

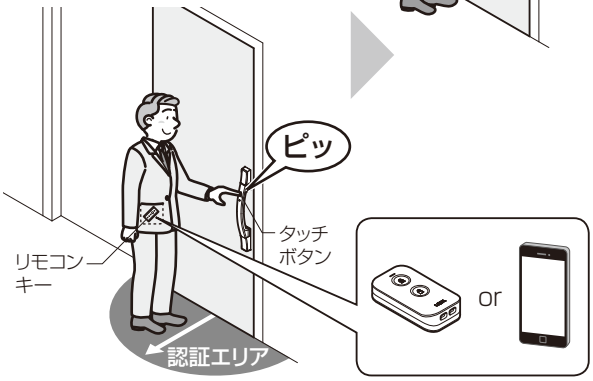
タッチボタンを押し、カードキーまたはタグキーを「」マークにかざします。

※「」マーク（リーダー部）、タッチボタンはハンドルに付いています。

【リモコン・スマートフォンの場合】

リモコンまたはスマートフォンを携帯し、タッチボタンを押します。





ドアを
開けます。

ドアは
閉じたまま。

自動施錠 ON の場合

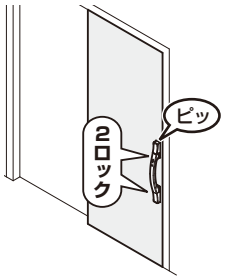
閉まると自動施錠します。

自動施錠 OFF の場合

閉まっても自動施錠しません。施錠してください。

しめ忘れ防止機能

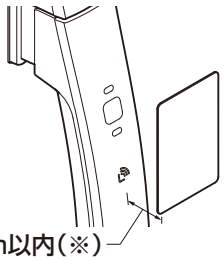
30秒後に自動施錠します。



【カードキー、タグキーの場合】

タッチボタンを押すと最大 5 秒間、認証モードになります。カードキー、タグキーは認証モード中に図のように「」マークにかざしてください。

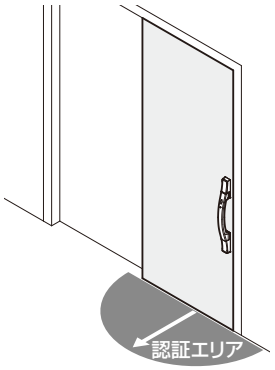
※反応距離は、カードや携帯電話の種類により、異なります。



【リモコン・スマートフォンの場合】

タッチボタンを押すと最大 5 秒間、認証モードになります。この間にリモコンまたはスマートフォンが認証エリア内にあると施解錠します。

※周囲の電波環境や障害物の有無により認証エリアは変化します。このため、実際の認証エリアはきれいな球体ではありません。



■お知らせ

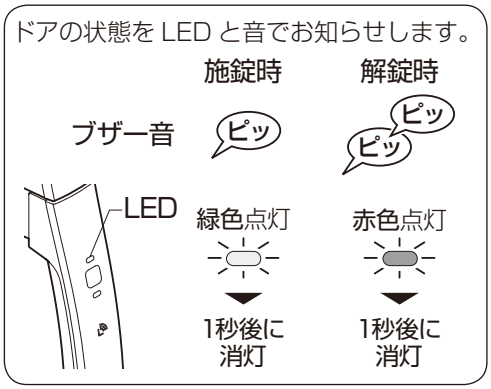
スマートフォンは以下の状態の場合、ドアと通信ができず、作動しませんのでご注意ください。

・アプリが起動していない場合（バックグラウンドでの起動は可）。
・Bluetooth® が有効でない場合
・スマートフォンの電源が OFF の時や電池切れの場合

2 タッチボタンで施錠する

【カードキー、タグキーの場合】
タッチボタンを押し、カードキーまたはタグキーを「 」マークにかざします。

【リモコン・スマートフォンの場合】
リモコンまたはスマートフォンを携帯し、タッチボタンを押します。



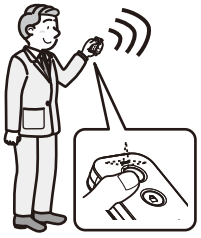
■お知らせ
本リモコンは Bluetooth® を用いてドア本体と通信しています。リモコンはボタンを押してから接続を開始するためスマートフォンに比べ施解錠動作が若干遅くなりますが故障ではありません。

3 遠隔操作で施解錠する

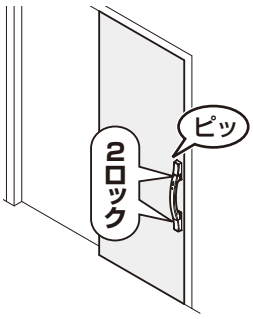
スマートフォンの操作やリモコンのボタン操作で通信エリア内から施解錠することができます。
※解錠後の動作は、タッチボタンで解錠したときと同じです。

【リモコンの場合】

■施錠する場合
リモコンの「施錠マーク」のボタンを押します。



2つのカギが施錠します。



■解錠する場合
リモコンの「解錠マーク」のボタンを押します。

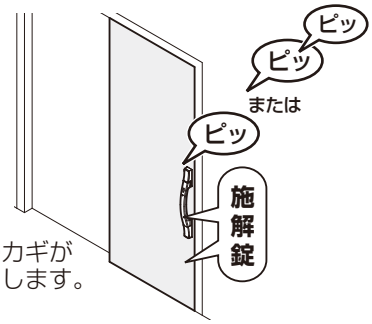
2つのカギが解錠します。

※通信エリアが重なる複数のドアに同じリモコンを登録した場合、リモコンのボタンを押しての遠隔操作が正常に作動しないことがあります。

【スマートフォンの場合（施解錠する場合）】

アプリを立ち上げてトップ画面を開きます。

操作ボタンをタッチします。

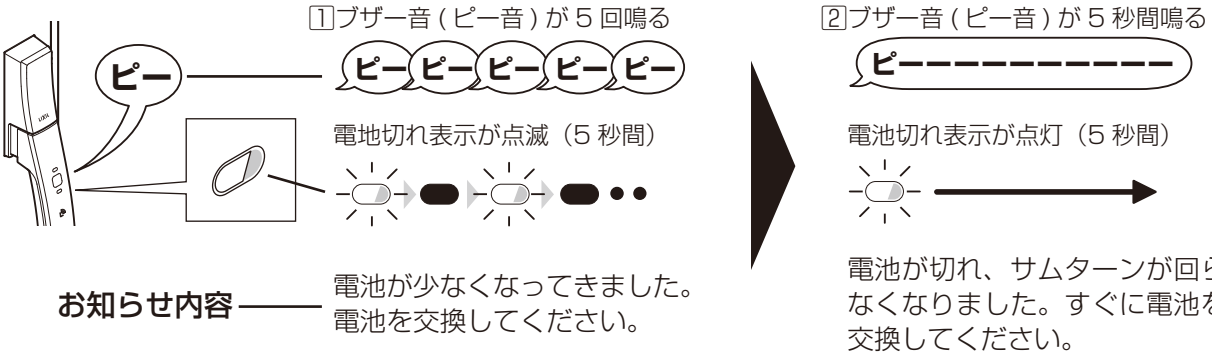


2つのカギが
施解錠します。

※遠隔操作ができる通信エリアは、室外側が広く、室内側は狭くなります。また、スマートフォンは機種によって範囲が大きく異なります。

4 電池交換の時期を知りたい

・電池寿命は、１日 10 回のご使用で約１年です。（使用状況や環境によって、期間は前後します）
・電池寿命となり、交換が必要になりましたら操作時に次の内容にてお伝えします。

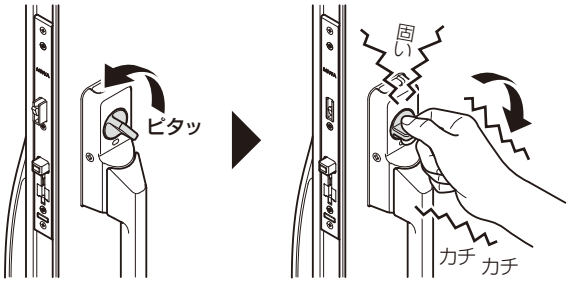


■お知らせ
※電池切れになりますと施解錠できなくなります。電池切れ表示が点滅してから電池切れになるまで数十回操作できますが表示が点灯しましたら速やかに電池を交換してください。

※電池の交換方法は P.5「ドアに電池を入れる、交換する」を参照ください。

■電池交換時のお願い

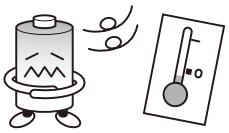
使い切った電池はすぐに機器から取出してください。	使い切った電池をそのままにしておくと電池から液モレするおそれがあります。また、電気錠を使わない場合も電池を機器から取りはずしてください。
アルカリ乾電池単３形をご使用ください。	アルカリ乾電池以外（充電式電池など）を使用されますと電池寿命が短くなったり、急に電池切れになるおそれがあります。
８本とも全て同じ銘柄で新品の電池に交換してください。	１本だけ古い電池のままだったり、種類の異なる電池を混ぜて使用すると電池の液モレや発熱するおそれがあります。
電池に水分や汚れ、キズが付かないようにしてください。	接点部分が腐食し接触不良の原因や液モレの原因になることがあります。
電池交換時期（→ P.15）になりましたら、電池を交換してください。	電池切れにより、施解錠の途中でサムターンが止まると手動での施解錠が固くなるとこがあります。この場合は、電池を交換し、電気錠で操作をすると復帰します。 なお、固くなった状態でのサムターンやシリンダーを手で回しても故障することはありません。
電池交換は手動で解錠してから行ってください。	意図せずドアが閉まり、しめ出されるおそれがあります。



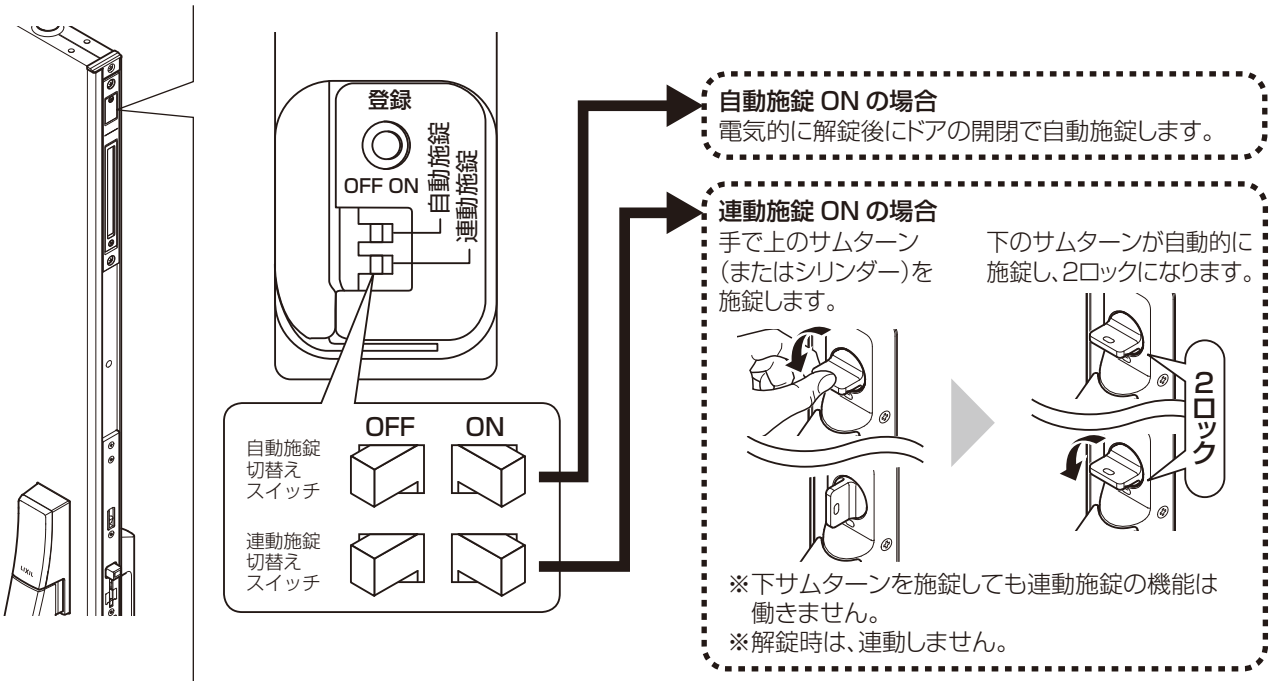
電池から漏れた液が機器に付着し、拭き取れない場合は、機器の故障につながりますので、使用を中止し、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又は LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

■電池の特性について

●電池は、冷えると電圧が低下する特性があります。このため、冬季など気温が低下し電池が冷えると、電池の交換時期をお知らせするブザー音や表示が出ることがあります。ただし、気温が上がるなどして、電池の温度が上がると交換時期のお知らせはでなくなることがあります。交換時期のお知らせが続く場合は、電池の消耗が考えられますので電池を交換してください。
●極端に気温が低下した場合や指定外の電池を使用された場合は、電池交換のお知らせなく、急に電池切れとなり作動しなくなることがあります。
●同梱の電池は作動確認用のため、寿命が短い場合があります。
●ドアの電池寿命に近づくと、サムターンが遅くなりますが異常ではありません。



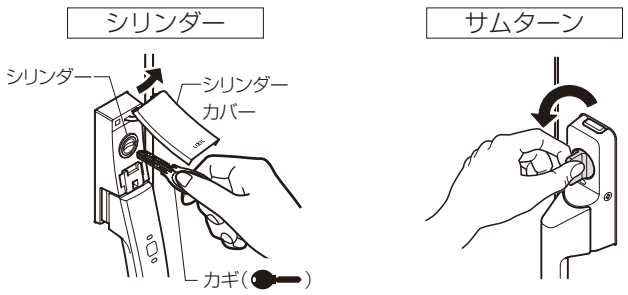
5 自動施錠と連動施錠の切替え



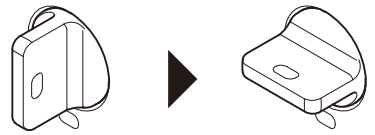
※スイッチを操作しにくい場合は、爪楊枝などを利用して優しく操作してください。スイッチが折れてしまう場合があります。
※玄関キーを一度も登録したことがない場合、上記機能はすべて作動しません。

6 シリンダーやサムターンから施解錠したい

シリンダー、サムターンを手で回し施解錠できます。この場合、しめ忘れ防止機能を含め、自動施錠しません。
※２つめのカギの解錠は１つめから 20 秒以内に行ってください。不正解錠防止機能（P.17）が働き、再ロックされます。



■サムターンの向きと表示



解錠【赤】　施錠【緑】

※サムターンのデザインは上記と異なる場合があります。

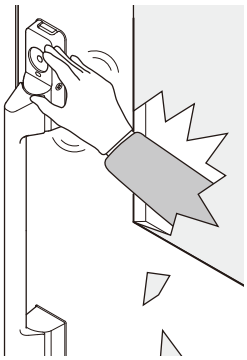
※シリンダーカバーを外してカギ（　）を挿入し、手で回して施解錠します。
詳しくは、P.4 を参照ください。

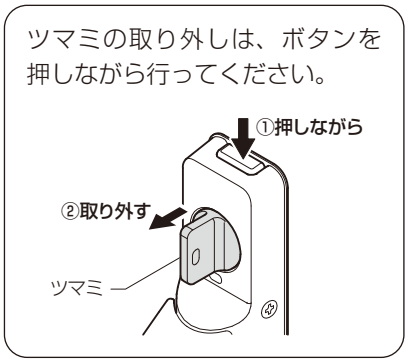
7 防犯機能について知りたい

■不正解錠防止機能

１つめのカギが不正に開けられても 20 秒以内に２つめのカギを開けなければ自動的にカギが再ロックされ不正解錠を防止します。
※この機能は正しい操作のときも働きます。２つめのカギは２０秒以内に解錠してください。

■セキュリティサムターン





サムターンのツマミを取外せますので、外出時に２個とも外しておけば、ガラス破りなどによる不正な操作を防げます。
※外したツマミは保管場所を決め、ご使用する方全員が分かるようにしてください。

ご使用上の注意事項について

＜ご使用上の注意事項＞

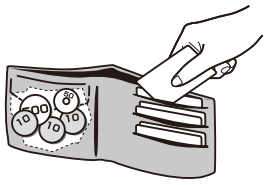
●ドアが閉まりきらないなどにより施錠できない場合や自動施錠を OFF にしている場合など、カギをかけ忘れたまま、外出することがないように、LED やブザー音などで施錠したことをご確認ください。
●自動施錠 ON の場合、電気錠で解錠した後は自動施錠されますので、帰宅時など、荷物と一緒に玄関キーを室内に置いて、もう一度外に出ないようにしてください。ドアが閉まり自動施錠され、外にしめ出されるおそれがあります。

＜リモコンの取扱い＞

●電池は、冷えると電圧が低下する特性があります。このため、冬季など、気温が低下した際は、一時的に電池切れになりますが温度が上がると使用できるようになる場合があります。
●リモコンに強い力を加えないでください。意図せずボタンが押され、勝手に施解錠する場合があります。

＜カードキー、タグキーの取扱い＞

●常にカードケースに入れておくなど、カード内部の電子部品が破損しないように大切にご使用ください。
●カードキー、タグキーが利用できない場合がありますので次の内容についてご注意ください。
・複数の非接触型 IC カードと一緒にかざした場合。
・小銭などの金属が入った財布に入れてかざした場合。
・通信中の無線通信機器と一緒にかざした場合。
●カードキー、タグキーの中に入っている電子部品が故障するおそれがありますので、以下の使用方法をお守りください。
・ポケットやバッグの中などに入れて湾曲をくり返すことや折り曲げたりしないでください。
・窓際や車のダッシュボードの上など高温となる場所に置かないでください。
・穴を開けたり、キズを付けたり表面がへこむほどの衝撃を加えないでください。



登録データの削除

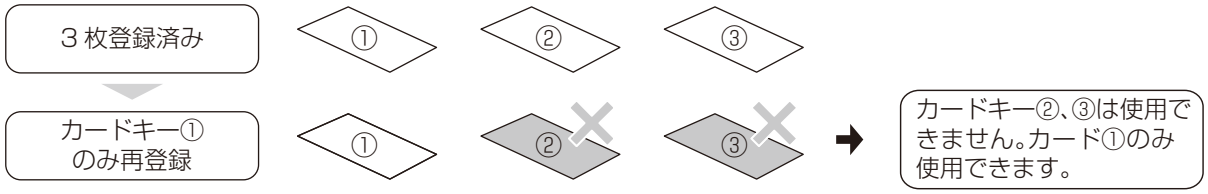
■カードキー、タグキー、リモコン、スマートフォンの登録を削除したい

削除方法	対象	参照ページ
上書きによる削除	カードキー　タグキー　リモコン	1（P.18）
アプリから削除	カードキー　タグキー　リモコン　スマートフォン	2（P.19）
全ての登録データを削除	カードキー　タグキー　リモコン　スマートフォン	3（P.19）

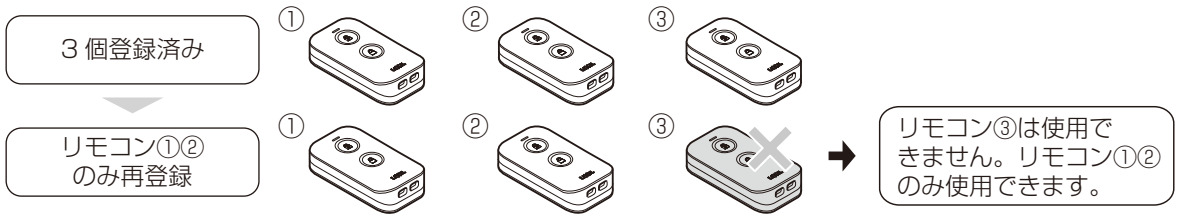
1 上書きによる削除方法

登録を削除したいカードキー、タグキーまたはリモコン以外で再登録してください。
（登録方法は P.6「カードキー、タグキーを登録する」、P.7「リモコンを登録する」を参照）
新たに１つでも登録すると、同じ種類の玄関キーの登録データはすべて削除されます。
※登録ボタンを押して、何も登録せず終了になった場合は、元の登録状態のままです。

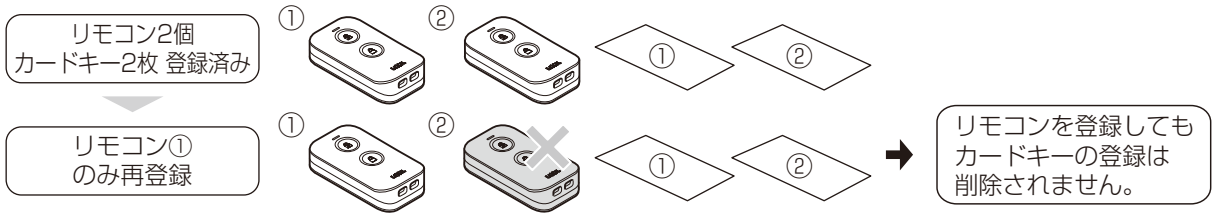
（例）カードキー３枚がすでに登録済みの場合※タグキーの場合も同じです。



（例）リモコン３個がすでに登録済みの場合



（例）リモコン２個、カードキー２枚がすでに登録済みの場合※タグキーの場合も同じです。



2 アプリから削除する

■新規登録によりスマートフォンの登録を削除（上書き）する方法

主にスマートフォンの機種変更（買い替え）の際に行う方法です。

方法

登録済みの名前で新たに登録すると、同じ名前で登録されていたスマートフォンの登録データが削除（上書き）されます。

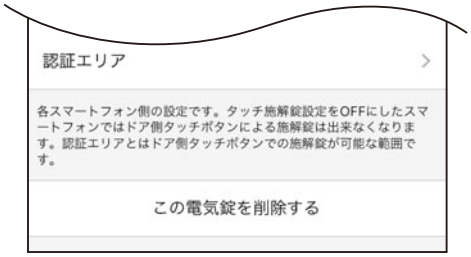
■自分のスマートフォンの登録を削除する方法

使用しなくなったスマートフォンの登録を削除するにはアプリをアンインストールするか次の方法で削除することができます。

方法

「 ≡メニュー→ 電気錠の設定→ この電気錠を削除する」から削除を行えます。削除したスマートフォンからは全ての操作ができなくなりますのでご注意ください。

※「この電気錠を削除する」の項目は下へスクロールしないと見えない場合があります。



■お知らせ

通信エリア内でこの操作を行うとドア本体側とスマートフォン側の登録が両方同時に削除されます。
通信エリア外でこの操作を行うとスマートフォン側の登録は消えますがドア本体側には登録情報が残り、登録件数としてカウントされますので他のスマートフォンから削除してください。

■他のスマートフォン、カードキー、タグキー、リモコンの登録を削除する方法

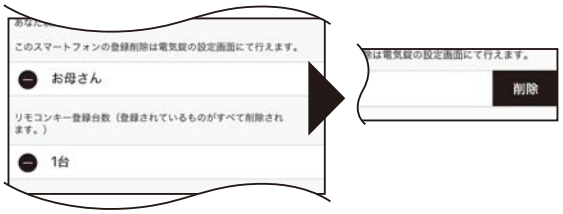
アプリ上から自分のスマートフォン以外の登録データを削除することができます。＊1
本操作を行うと、その時点から対象の機器がご使用できなくなります。利用者本人の合意のうえ削除を行ってください。

方法

「 ≡メニュー→ 電気錠の設定→ 登録確認・削除」から画面右上の**編集**を押してください。

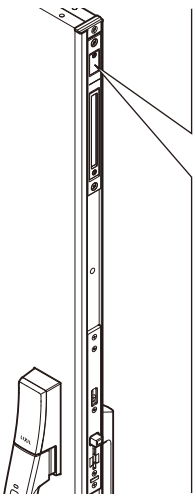
⊖のマークを押し 削除 を押すと登録が削除されます。

＊1）この操作は通信エリア内のみ行えます。ドアの近くでスマートフォンを操作し実施してください。
スマートフォンは個別での削除が可能です。カードキー・リモコンの登録データはそれぞれ一括での削除になります。

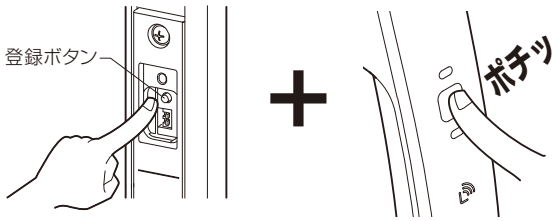


3 すべての登録データを削除する

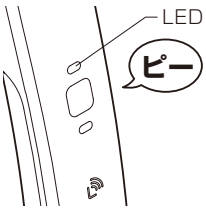
以下の操作をすることでそのドアに登録されている全ての登録データ（ファミリーコード含む）を削除することができます。



1 登録ボタンとタッチボタンを同時に５秒押し続けます。

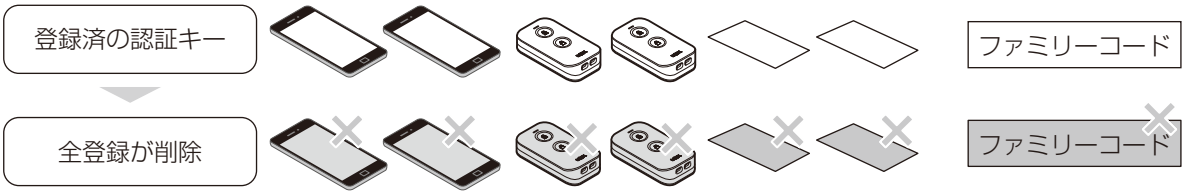


2 「ピー」音が鳴り、LED が橙色で５回点滅しますと全ての登録データが削除されます。



■お願い

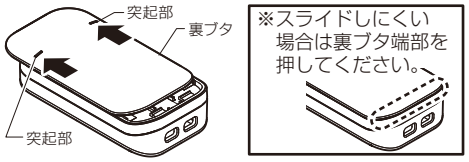
住宅を購入・転売・借入等された場合は、ご使用開始前に「すべての登録データを削除」してください。この操作により、工事中や前入居者の登録情報が削除されますので不正な利用が防止されます。



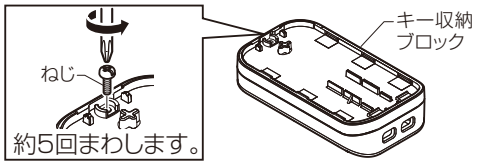
リモコンについて

1 リモコンの電池を交換したい

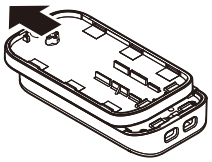
1 裏側の突起部を押し、裏ブタをスライドさせて外します。



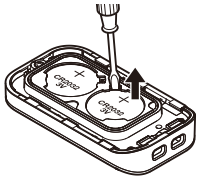
2 キー収納ブロックのねじを外します。



3 キー収納ブロックをスライドさせて外します。

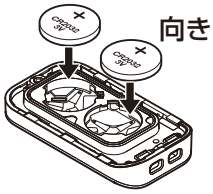


4 マイナスドライバーで古い電池を取り出します。



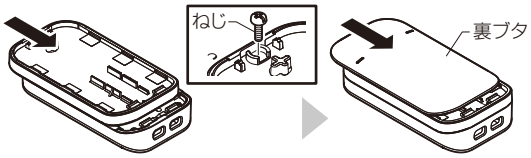
5 新しい電池を入れます。

■使用電池
コイン型　リチウム電池
CR2032 2個



※電池は 2 個とも新しいものに交換してください。
電池 1 個でも作動しますが電池寿命が短くなります。

6 キー収納ブロックとねじを取付け後、裏ブタを取り付けます。

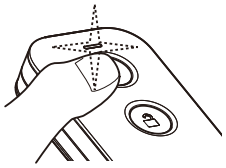


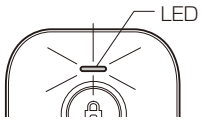
■電池交換時のお願い

・リモコンの内部や電池に水や汚れを付着させないでください。動作不良の原因になります。また、水漏れ検知ラベルが反応し柄が不鮮明な場合は保証を受けられません。
・リモコンの電池は『CR2032』を使用ください。これ以外の品番の電池を使用すると接触不良が発生するなどにより正常に作動しません。
・電池の向きを間違えると、片方の電池が異常消耗し、発熱や故障の原因となりますのでご注意ください。
・電池は、自治体の条例などの定めがある場合には、その条例に従って廃棄してください。

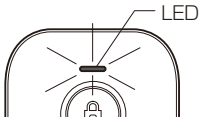
2 リモコンの電池交換時期を知りたい

リモコンのランプは通常「緑色」に点灯しますが、電池交換時期になりますと「赤色」に点灯し、電池の交換時期をお知らせします。点灯後は速やかにリモコンの電池を交換してください。
※同梱の電池は作動確認用の為、
寿命が短い場合があります。





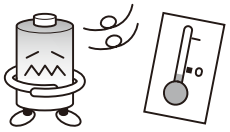
通常：緑色で点灯



電池交換時：赤色で点灯

■電池の特性について

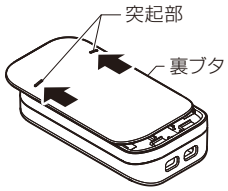
・電池は、冷えると電圧が低下する特性があります。このため、冬季など気温が低下し電池が冷えると、電池の交換時期のお知らせ表示が出ることがあります。ただし、気温が上がるなどして、電池の温度が上がると交換時期のお知らせは出なくなることがあります。交換時期のお知らせが続く場合は、電池の消耗が考えられますので電池を交換してください。
・極端に気温が低下した場合や指定外の電池を使用された場合は、
電池交換のお知らせなく、急に電池切れとなり作動しなくなることがあります。
・同梱の電池は作動確認用のため、寿命が短い場合があります。



3 標準キーの収納方法と取り出し方

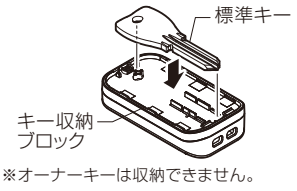
リモコン内に標準キーを収納することができます。(※リモコンご購入時には標準キーは収納されていません。)

1 裏側の突起部を押し、裏ブタをスライドさせて外します。



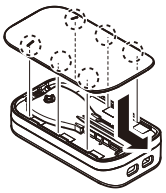
※スライドしにくい場合は裏ブタ端部を押してください。

2 標準キーをキー収納ブロックに収納／取出します。



※オーナーキーは収納できません。

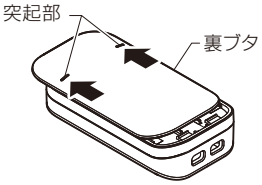
3 ツメ位置を合わせ、裏ブタをはめ、スライドさせます。



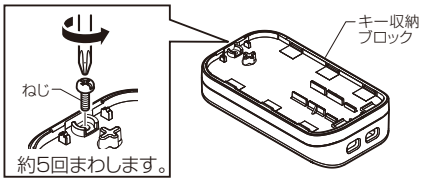
4 リモコンのスリム化（キー収納ブロックの取外し）

キー収納ブロックを外すとリモコンをスリムにすることができます。
※スリム化すると標準キーを収納できませんが万が一の事態に備えて、標準キー（カギ（●━））も携帯してください。

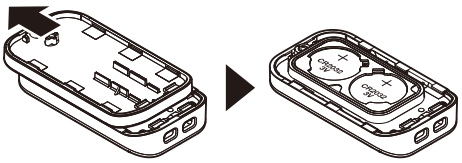
1 裏側の突起部を押し、裏ブタをスライドさせて外します。



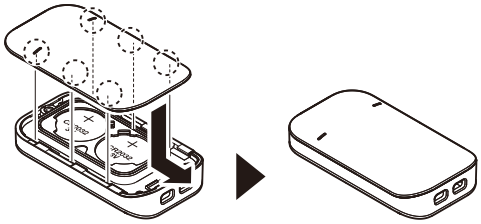
2 キー収納ブロックのねじを外します。



3 キー収納ブロックをスライドさせて外します。



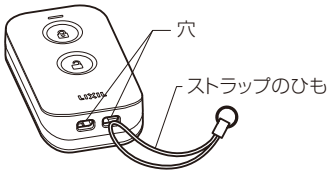
4 ツメ位置を合わせ、裏ブタをはめ、スライドさせます。



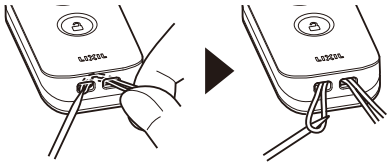
※取外したねじとキー収納ブロックはなくさないよう保管してください。
ねじを紛失した際は、「なべ小ねじM2×5」を代用いただけます。

5 ストラップの通し方

1 片側の穴へストラップのひもを挿入します。



2 もう一方の穴からピンセットや先の細い棒などを使い、ひもを取出します。



3 引張りだしたひもにストラップの根本側を通し完了です。

※金属製Oリングなどを通し使用する場合は、リモコンの破損のおそれがありますのでご注意ください。

6 リモコンのオートスリープ機能について

リモコンは 10 秒間静止すると自動的にスリープ状態になり、タッチボタン操作ができなくなります。スリープ状態は、リモコンを軽く揺らすなどして動かすかリモコンのボタンを押すと解除されます。
※予期せぬ振動でスリープが解除される場合に備え、リモコンはドアから離して保管してください（P.2）

お手入れ方法

■電装機器のお手入れ方法

①表面についた砂やほこりをていねいに取除きます。隅の清掃は歯ブラシを利用すると便利です。

②水で濡らし、固く絞った柔らかい布で全体の汚れを拭き取ります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液を布に付け汚れを落とし、そのあと水拭きします。

※上記の場合で落ちない汚れは、布にエタノールを含ませて拭いてください。その際、エタノールが商品に付いた状態で放置しないで拭き取ってください。放置すると、シミや変色の原因になります。

■お願い

・電装機器には水がかからないようにご注意ください。電装機器内部に水が入り故障することがあります。

・酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品、有機溶剤は、塗膜はがれを引き起こしますので、使用しないでください。

・硬い布やブラシなどで強くこすると、ドア表面材にキズをつけてしまいますのでご注意ください。

こまったときには

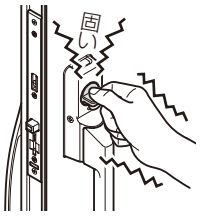
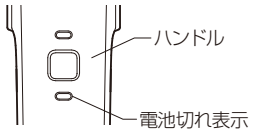
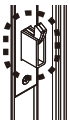
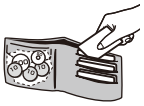
1 故障かな?と思ったら

まずは、次の内容をご確認ください。
また電気錠に関する内容は「玄関ドア 電気錠サポート」サイトにて詳しくご説明させていただいております。
それでも問題が解決できない場合はお客様相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。

電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

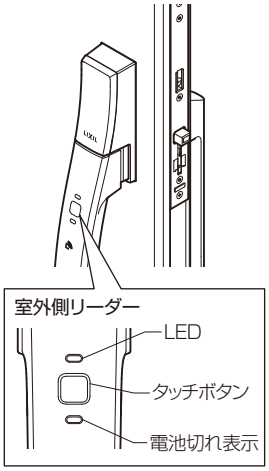
https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm

	こんなときは	ここを確認してください。
誤作動する。	勝手に解錠した。	ポケットやバッグの中のリモコンやスマートフォンのボタンが、意図せず押されて解錠した。
錠（デッドボルト）が出たままになる。	施錠動作中にドアを開けた。	ドアを開けると箱錠が停止し、錠（デッドボルト）が出たまま止まることがあります。箱錠作動中は、サムターンに触れたりドアを開けたりしないでください。
サムターンやカギを手で回すと固い 	作動中サムターンに触れたり、ドアを開けた。	電気箱錠を保護する機能が一時的に働いた為で故障ではありません。通常より固いですが、サムターンやカギを回すこともできます。
	電地切れ表示が点灯していた。 	サムターンの作動途中で電池が切れ、停止してしまいました。新しい電池に交換し、再度電気錠による操作を行ってください。
	錠（デッドボルト）がストライクに接触している。 	ストライクを調整し、解消することができますので『お施主様用保存版 取扱い説明書』の建付け調整の項目をご確認ください。
施錠できない。	ピ音が 5 回鳴った。	ドアが開いています。閉じてから操作してください。
おサイフケータイをカギとして登録できない。	おサイフケータイで楽天 Edy を利用していない。	おサイフケータイをカギとして使用できるように登録するには、楽天 Edy アプリのダウンロード・初期設定が必要です。
カードキー、タグキーが使えない。	財布やパスケースに入れると動かない。 	ほかの非接触型 IC カードや小銭などと一緒にかざした場合、作動しないことがあります。
リモコンのボタンやタッチボタンの反応が悪い。	スマートフォンと比べてリモコンの反応が悪い。	リモコンはボタンを押してから接続を開始するため、スマートフォンに比べ施開錠動作が1秒遅くなりますが、故障ではありません。

	こんなときは	ここを確認してください。
リモコンのボタンを押しても施錠も解錠もできない。	リモコンのボタンを押してもランプが点かない。	・リモコンの電池が切れました。新しい電池に交換してください。→（P.20） ・電源が OFF になっています。2つのボタンを同時長押しにて電源を ON にしてください。→（P.7）
	リモコンのボタンを繰り返し押すと、ボタンが効かない時がある。	動作作動中や通信中は反応しない場合があります。
タッチボタンの反応が悪い。	ドアとの間に Bluetooth® 通信を遮断する人体、物がある。	スマートフォンやリモコンをドアに近づけるなどして、通信経路を確保してください。→（P.9）
	ドアの近くに壁や塀などの電波を反射する物がある。	Bluetooth の電波が物に反射し、電波どうしが干渉する場合があります。干渉しない位置にスマートフォンやリモコンを動かしてください。
タッチボタンを押しても反応しない。	スマートフォンの Bluetooth® が OFF になっている。	スマートフォンの設定画面で Bluetooth® を ON にしてください。
	スマートフォンのアプリが起動していない。	アプリを起動してください（バックグランウンドも可）。
	スマートフォン上で起動しているアプリが複数ある。	節電アプリなどが My Entrance アプリの作動に影響を及ぼす場合があります。該当アプリの設定や使用しないアプリは停止させてください。
	「タッチ施解錠」の設定が OFF になっている可能性があります。	「タッチ施解錠」の設定を ON にしてください→（P.12）
	タッチボタンを押したあと、LED が橙色で点滅する。	玄関キーが登録されていません。登録を行ってください。→(P.6)
スマートフォンのアプリ「My Entrance」を登録できない。	スマートフォンの Bluetooth® が OFF になっている。	スマートフォンの設定画面で Bluetooth® を ON にしてください。
	ドアが閉まっている、またはカギが施錠状態になっている。	ドアは開いた状態かつカギは解錠状態で登録を行ってください。
	ファミリーコードを忘れてしまった。	ファミリーコードはアプリ上にてご確認頂けます。→（P.8）
施解錠のメール通知が届かない。	アプリ上で設定を行っていない。	アプリ「My Entrance」を開き「メール通知設定」を行ってください。→（P .10）
	入力した送信先アドレスが間違えている。	送信先のメールアドレスが間違っていないかご確認ください。
	「迷惑メール」として認識されている。	受信側の端末の設定（メールサービス、メールソフト、ウイルス対策ソフト等）により迷惑メールとして認識されている可能性があります。受信側端末のソフトやキャリアの受信設定をご確認ください。
「電気錠の設定」が変更できない。（登録確認・削除 等）	文字がグレーになっており触っても反応しない。	スマートフォンとドアが通信エリア内で通信が行われている状態でないと変更できません。スマートフォンの Bluetooth® が ON になっているのをご確認の上、ドアの近くで行ってください。
施解錠履歴がアプリに反映されない。	ドアから離れた所で確認した。	スマートフォンとドアが通信中（通信エリア内）に操作する事で履歴が更新されます。
	スマートフォンの Bluetooth® が OFF になっている	スマートフォンのBluetooth®がONになっているのをご確認の上、ドアの近くで行ってください。
スマートフォンを紛失した。	紛失したスマートフォンの登録を削除してください。	他のスマートフォンのアプリ上から削除してください。 他のスマートフォンがない場合は、「すべての登録データを削除する」で登録データを削除してください。→（P.19）
リモコン、カードキー、タグキーを紛失した。	紛失したリモコン、カードキー、タグキーの登録を削除してください。	登録されているスマートフォンのアプリ上または、上書きにて削除してください→（P.18） スマートフォンや他のリモコン、カードキー、タグキーがなく削除できない場合は「すべての登録データを削除する」で登録データを削除してください。→（P.19）
スマートフォンを機種変更したい。		前のスマートフォンと同じ名前で新しいスマートフォンを登録してください。前のスマートフォンの登録が削除（上書き）されます。 登録方法→（P.8） 前のスマートフォンの登録削除→（P.19）

2 ドアのブザー音と LED 表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ	緑色で点滅（5 秒間）	施錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	赤色で点滅（5 秒間）	解錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	点滅→消灯	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯（1 秒間）	施錠できました。
ピッピッ	赤色で点灯（1 秒間）	解錠できました。
ピー	緑→赤色で交互に点灯繰り返し	登録ボタンが押され登録モードに入りました。
	点灯→消灯	登録モードが終わりました。
—	緑色で点滅（アップデート終了まで）	ファームウェアアップデート状態へ入りました。



ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ	橙色で点滅（1.5 秒間）	ドアが開いた状態で施解錠操作が行われました。	ドアを閉じてください。
		施錠状態で登録ボタンが押されました。	登録の際は解錠状態で行ってください。
		サムターン作動途中でドアが開けられました	手動でサムターンを回し解錠にしてからドアを閉じてください。
ピーピーピーピーピー	電池切れ表示が点滅（5 秒間）	電池容量が少なくなりました。	新しい電池に交換してください。 電池を入れ直してください。 →（P.5）
ピ————————	電池切れ表示が点灯（5 秒間）	電池が切れました。	
	電池切れ表示が点灯（60 秒間）	電池を入れ間違っています。 電池フタが半開きです。	
ピピ × 8	橙色点滅（2.5 秒間）	上の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	ドアが確実に閉まっていることを確認し再度電気錠操作で動かしてください。それでも同様のブザー音が鳴る場合は、建付け調整を行ってください。 →（「玄関ドア 電気錠サポート」サイト）
ピピピ × 6		下の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	
ピピ、ピピピ × 3		上下の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	
ピーピ × 4 ピーピピ × 4 ピーピピピ × 4 ピーピピ、ピーピピピ × 2 ピー × 4 ピー × 8	橙色で点灯（5 秒間）	機器にエラーがありました。	お客さま相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。→（P.27）
—	橙色で点滅（5 秒間）	玄関キーが登録されていません。（出荷時）	玄関キーの登録を行ってください。→（P.6）
ピッ	緑色で点灯（1 秒間）（動作なし）	玄関キーが登録されていません。（全抹消後 ／施錠時 ）	
	赤色で点灯（1 秒間）（動作なし）	玄関キーが登録されていません。（全抹消後 ／解錠時 ）	

3 リモコンのランプ表示について

ランプ表示内容	お知らせ内容	対処方法
緑色で点灯（0.1 秒間）	ボタンが押されました。	
緑色で点灯（1 秒間）	電源が ON になりました。	
緑色で 5 回点滅	電源が OFF になりました。	
緑色で 3 回点滅	登録が成功しました。	
上記のランプ表示が赤色で点灯・点滅	電池残量がわずかになりました。	電池（CR2032）× 2 個を新品に交換してください。
橙色で 5 分点灯	リモコンに異常があります。	お客さま相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。→（P.27）

商品仕様

■ドア側（電池式）

入力電源仕様	DC6V アルカリ乾電池 単3形 8本（4本の直列接続を2並列で接続）
電池寿命	約 1年（常温20℃ 操作：10回/日 ）
出力周波数	2402～2480MHz ／ 13.56MHz
電界強度	85dBμV/m ／ 112dBμV/m（参考値）
無線局の種別	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	－10～50℃（電池を除く）
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	－20～60℃
スマートフォン登録可能数 リモコン登録可能数	計10台（最大同時接続数6台）
カードキー登録可能数	最大10枚

■カードキー

使用環境温度範囲	－10～50℃
保存環境温度範囲	－20～60℃

■リモコン

入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池CR2032 2個
電池寿命	約 1年（常温20℃ 操作：10回/日 ）
出力周波数	2402～2480MHz
電界強度	85dBμV/m（参考）
無線局の種別	2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	－10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	－20～60℃

■タグキー

使用環境温度範囲	－20～60℃
保存環境温度範囲	－20～60℃

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のお客さま相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。

アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので**「■商品保証について」**の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認の上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、 販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

①ご住所・お名前・電話番号
②商品名・品番
③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
④故障又は異常の内容
⑤訪問ご希望日
⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

・お求めの取扱い店
・製品に表示している連絡先
・LIXIL修理受付センター　0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含みます。）の最低保有期間は、製造打切り後10年です。電装系部品については製造打切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打切り後2年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXILオフィシャルサイトよりご注文いただけます。
●LIXIL PARTS SHOP　https://parts.lixil.co.jp/lixilps/shop/

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター 0120-126-001にご連絡ください。

2022年5月

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ **対象商品**　サッシ・ドア商品

■ **保証期間**　施工者よりの引き渡し日（注1・注2）から2年間（電装部品については1年間）
注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品（同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る）からの雨水浸入については10年間とします。

■ **保証内容**　取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。
なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。
不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ **免責事項**　保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）
②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
（例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など）
③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
（例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど）
⑧天災その他の不可抗力
（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
（例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合）
⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

＊保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。
＊本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. **0120-126-001**

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. **0120-413-433**　FAX. **0120-413-436**

https://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

LIXIL

FamiLock 電池式 取扱い説明書

2023.3

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

https://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから
ご確認ください。

取説番号 MAM-985A	事業所コード AW61	2023.3.1発行

MAM985A